

## 2月の果実の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
みかん類	12,047	96	10,785	241	102	254	0	0.0	静岡、長崎、熊本島産中心の入荷となる。静岡の「寿太郎」や熊本の「今村系」、「丹生系」がどこまで内容を安定させられるかが2月の価格を左右する。しかし輸入品の少なさから販売環境はそれほど悪くなく、前年並みの価格に落ち着くと予想される。
りんご類	5,755	112	6,196	291	101	268	35	0.6	青森産が殆んどを占める。1月中旬までの入荷量で前年の116%、価格は前年より若干安いが安定した推移であった。1月下旬から2月については同様の展開が予想される。全体としては前年を上回る入荷量となる。しかし品質が評価されているので価格は前年並みになる見込み。
いちご類	4,192	97	4,200	1,233	103	1,191	0	0.0	栃木、福岡、佐賀、静岡産中心の入荷となる。当初の入荷増の予想と異なり、1月は平準ペースで入荷され、堅調な価格推移となった。1月下旬からは2番果の出荷が本格化してくるが、2月全体でもさほど入荷増は見込めず、価格もほぼ持ち合いとなる。2番と3番も連続しており、しばらくは安定した価格での販売が続く見込み。